

市功労者等を表彰

市は8月1日、功労者等表彰式を開催。功労者5人、篤志者3人・4団体、分野別功績者16人・3団体を表彰しました。被表彰者は次の皆さんです（敬称略、順不同）。



被表彰者の皆さん

功労者

塩見麻理子（里町）
平成14年9月から5期20年、市議会議員を務め、副議長や予算決算委員会、産業厚生環境委員会の委員長を歴任。議会の円滑な運営に尽力し、住民の代弁者として地方自治の進展に寄与された。

掲頭久美子（大島町）

平成10年1月から7期24年にわたり市議会議員を務め、産業建設委員会、産業厚生環境委員会、防災対策特別委員会の各委員長を歴



代表して謝辞を述べる森さん

任。議会の円滑な運営に尽力し、住民の代弁者として地方自治の進展に寄与された。

福山保孝（井倉町）

平成16年から10年にわたり綾部市社会福祉協議会会長として社会福祉に尽力。また、平成21年4月から市人権教育推進連絡協議会の会長として、人権教育の推進に取り組む。さらに、あやべ里山サイクリングやタンデムを楽しむ会を主催し、障害者施策や観光・スポーツ振興による交流人口の拡大に貢献された。

森義美（十倉名畑町）

平成14年9月から5期20年、市議会議員を務め、副議長や産業厚生環境委員会、総合計画等審査特別委員会の委員長を歴任。議会の円滑な運営に尽力し、住民の代弁者として地方自治の進展に寄与された。

（故）吉崎久（岡町）

平成14年9月から5期20年、市議会議員を務め、総務教育建設委

員会や由良川内水対策特別委員会、防災対策特別委員会の委員長を歴任。議会の円滑な運営に尽力し、住民の代弁者として地方自治の進展に寄与された。

篤志者

吉川隆（広島市）▽四方祥樹（東京都）▽出口紅（亀岡市）▽AZI COM丸和ホールディングス（埼玉県）▽片山山化学工業研究所（大阪市）▽ケーケーシー情報システム（京都市）▽富士商（大阪市）

分野別功績者

井上歩乃花（五津合町）▽上原心（上延町）▽大槻優（小貝町）▽小田朔至（与謝野町）▽片岡明（大島町）▽鹿子木且夫（田野町）▽小林修（味方町）▽逆瀬川琉聖（上野町）▽塩見百代（小畑町）▽四方優（西原町）▽田中丈夫（神宮寺町）▽田村哉人（井倉町）▽福井ヒデ子（位田町）▽前田花穂（広小路一丁目）▽山内月然（測垣町）▽山本勉（物部町）▽綾部市少年少女消防クラブ（味方町）▽綾部スイミングスクールリーダーチーム（青野町）▽オムロン綾部事業所（中山町）

農業委員・推進委員決まる

第25期農業委員会の各委員が決定。市は7月18日に農業委員辞令交付式、同委員会は21日に農地利用最適化推進委員辞令交付式を行いました。

任期は3年間

農業委員会は7月21日、総会を開催し、互選により会長を三和喜治さん、同職務代理者を鎌部勉武さんに決定。その後、会長から農地利用最適化推進委員（以下、推進委員）に委嘱状を交付しました。両委員の任期は、7月20日から令和8年7月19日までの3年間。委員は次の皆さんです（敬称略、順不同）。

【農業委員】



山崎市長から辞令を受け取る農業委員

- 鎌部勉武（五津合町）▽福井省平（陸合町）▽高橋大治郎（忠町）▽白波瀬一幸（鷹栖町）▽柏原明宏（上杉町）▽神田一之（七百石町）▽三和喜治（上八田町）▽山崎喜三郎（多田町）▽四方諭（味方町）▽林多嘉子（月見町）▽雨林利治（高津町）▽大志万忠幸（大島町）▽高橋加絵（高津町）▽居相雅代（小貝町）▽大槻耕治（館町）▽福井泰子（位田町）▽大槻祐紀（西坂町）▽坂根正司（金河内町）
- 【推進委員】** 仲久保弘志（故屋岡町）▽今井直幸（八津合町）▽古和田満（五津合町）▽齋井隆司（十倉向町）▽谷垣正義（上原町）▽西野栄二（梅迫町）▽四方敏晴（測垣町）▽四方範敏（高倉町）▽上柿直一（井倉町）▽西村虎三（岡町）▽大嶋康治（豊里町）▽大槻智（大島町）▽永井久男（栗町）▽片桐好郎（物部町）▽村上秀則（白道路町）▽井上吉夫（志賀郷町）▽白波瀬一雄（別所町）



善言 語録

痛點

最近、親しい人との何気ない会話の中で、魚には痛點がないということが話題になった。私にとっては文字通り「目から鱗」の驚きであったのだが、というのは魚が釣り上げられる時に針の刺さった顎に全体重がかかる姿を想像してしまい魚釣りを控えてきたからだ。魚も人間同様その痛みに耐えているならば、なんて残酷な仕事かと思ひ込んでいたのだが、はたしてその魚に痛點がないとしたら、話は別である。

「痛みの無い世界」は総じて良いことの方が多かる。実際、痛みを和らげるために痛み止めを飲む人は多く、薬剤メーカーもより効果の優れた鎮痛薬の開発を競っている。しかしながら人は痛みを経験することで、時には反省し、

悔い改めようとするものだ。「失敗は成功の母」という所以である。失敗から多くを学び、その痛みを繰り返さないために精進するからであり、痛ければ痛いほどその効果は大きい。そう考えると痛みも時には、人生を見つめ直す機会として必要悪の一面があるのでないか、とも。

私は40代に痛風を発症し、それまでの不健全な食生活を改めた。結局は薬に頼ることになったが、その指標となる尿酸値にはできるだけアンテナを張った生活をしている（つもりだ）。ところが最近になって帯状疱疹を患った。主な原因は加齢との医者の診断で、これは諦めもつが、加えて「ストレスと疲れ」と言われると、何とも微妙。対症療法とばかりに「ケセラ・セラ（どうか、なる）」とストレス度合いを軽減するようなことをしたら、今の職責を全うできるであろうか、と複雑な気持ちに…。

ところで気になることに、最近の研究では「魚にも痛點がある」との報告がある。まだ未確定で諸説あるとのことだが、叶わずともいっせ魚に直接訊いてみたい衝動に駆られるこの頃である。

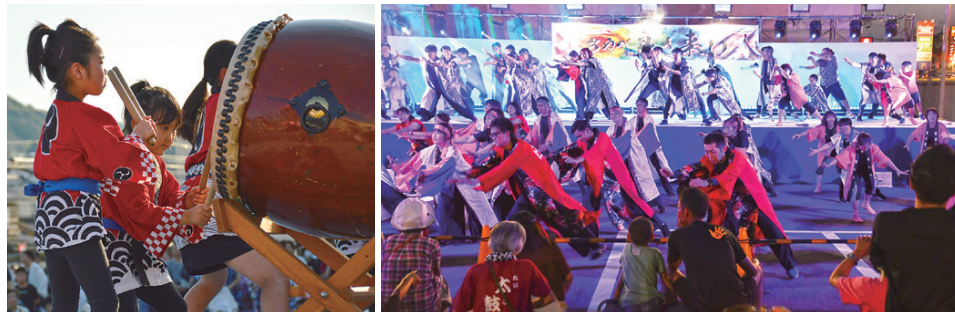
山崎善也（綾部市長）

あやべ topics

綾部の夏の風物詩に4万人が来場

7月22日、綾部の夏の一大イベント「あやべ水無月まつり」(同実行委員会主催)が、コロナ前の通常形態に戻して開催されました。

あやべ・日東精工アリーナ駐車場(市民センター、西町三丁目)で行われた「あやべ良さ来い」では、ダンスや太鼓、よさこいなどが披露され会場は大盛況。また、来場者4万人が夜空を彩る4,000発の花火を楽しみました。打ち上げ会場からは「今年はすごい。綺麗!」と感嘆の声が上がり「まだ終わらないで」と花火の終了を惜しむ声も聞かれました。



中筋納涼祭が4年ぶりに開催

中筋地区自治会連合会と中筋公民館は7月16日、中筋小学校で中筋ふれあい納涼祭を開催。快晴の中、同地区の住民や出身者など4,000人が来場し、綾部高校ダンス部や綾部中学校吹奏楽部などの発表や、露店を楽しみました。事業を担当した中筋公民館の大槻富美雄館長は「コロナで寂しい思いをしてきたが、コロナ前のにぎわいや地域のつながりを復活させたかった」と大盛況に笑顔でした。



志賀郷ビアガーデン3日間にぎわう

志賀郷地区の住民有志が主催する志賀郷ビアガーデンが7月14~16日の3日間、同町の志賀郷公民館周辺で開催。地域内外から多くの人々が訪れ、キッチンカーやジビエ料理などのグルメを味わいながら冷たい飲み物で乾杯し、夏のひとときを楽しみました。屋内ステージでは、落語やフラメンコ、バンド演奏などの多彩な催しが展開。満員の客席からは大きな拍子が起り、会場は一体感に包まれました。

手話コミ条例5周年

誰ひとり取り残されない社会へ

7月16日、西町三丁目のあやべ・日東精工アリーナ(市民センター)で、市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例の施行5周年記念事業が行われました。

「4Hearts」代表の那須かおりさんが「越境するコミュニケーションの可能性~地域連携で社会を変える~」をテーマに講演。「私は、生まれつき耳が聞こえない。困っている人の存在が認識されない現状に気付き、聴覚障害者が抱える問題解決のために団体を設立した」などと話しました。

講演後のパネルディスカッションでは、条例施行の成果や今後取り組みたいことなど意見が交わされました。



水草を切り、
水質を悪化させます！



- 1/アカミミガメの幼体 (ミドリガメ)
- 2/アカミミガメ
- 3/アメリカザリガニ

出典：自然環境研究センター



寿命20~30年！
体長20cm以上に！

外来生物とは、本来生息していなかった場所に、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のこと。このうち、生態系や人

条件付特定外来生物って何？

外来生物法の改正に伴い、通称「ミドリガメ」と呼ばれるアカミミガメとアメリカザリガニが、6月1日から「条件付特定外来生物」に指定されました。(記事ID3497)

野外に放さないで飼育が困難になったからといって池や川に放すことは法律で禁止されています。一度飼いだめたアカミミガメやアメリカザリガニは、最期まで飼うことが飼い主の責任です。責任を持って飼育してください。

野外に放さないで

飼育が困難になったからといって池や川に放すことは法律で禁止されています。一度飼いだめたアカミミガメやアメリカザリガニは、最期まで飼うことが飼い主の責任です。責任を持って飼育してください。

の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすものやその恐れがあるものが「特定外来生物」に指定され、飼育や輸入、譲渡、放出等は禁止されています。アカミミガメとアメリカザリガニが指定された「条件付特定外来生物」とは、特定外来生物のうち、当分の間、その規制の一部がかからないとされた生物のこと。手続きなどができる行為は▽家庭でペットとして飼育する▽飼育を目的に捕獲する▽飼えなくなった場合などは、責任を持って飼える人に無償で譲ったり、譲り受けたりする一です。

環境コラム

考えよう。私たちにできること



7月の夏祭り。子どもたちも元気よく楽しんでいました



私たちの心のふるさと、あやべ水源の里。その活動を順に紹介しながら、集落の元気のヒミツや日々を楽しく暮らすコツを探ります。

水源の里・坊口

志賀郷地区北西部、福知山市と舞鶴市に接する坊口。令和4年8

集落の今後について勉強会を開催



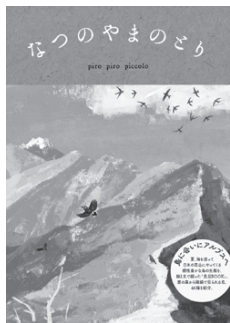
住民同士で勉強会を実施

平成26年に家族で移住した内山泰義さん「坊口の魅力は住民の仲の良さ。子どもがもともと増えるよう、地域と一緒に頑張っていきたいです」と今後の目標を語りました。

月に水源の里集落に指定されました。10月には、今後の活動方針や目標を話し合う勉強会を実施。▽集落の中心的存在となる金剛寺(通称坊口の観音様)の文化伝承▽花見会や夏祭りでの地域交流の継続▽都市住民との交流による活性化▽新たな移住者の獲得一などについて意見交換しました。住民が主体となって、住みよいまちづくりに取り組んでいます。代表の坂根隆志さんは「高齢化のため地域の担い手が減少しています。移住者の獲得に向け新たな空き家を発掘していきたい」と話します。

図書館ほんでほんで通信mini

夏のもで見られる、イカルやキセキレイなどの野鳥46種を紹介。個性豊かな生態を可愛らしいイラストと文でつづった1冊です。



おすすめポイント

立ち止まって、耳を澄ませてみませんか？
出かける楽しみがもっと広がります！

なつのもとのとり

著者=piro piro piccolo
出版社=山と溪谷社

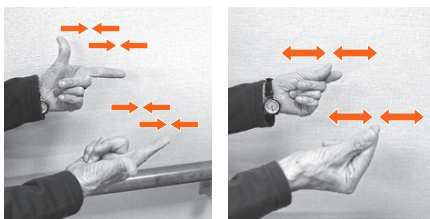
※電子図書館で読むことができます。詳しくは5面をご覧ください。

今月の手話

同じ、同様



両手の親指と人差し指を上に向けて左右に並べ



2指の開閉を左右同じように2回繰り返す

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

シリーズ 人権を考える ⑬ 多様性を認め合う社会に

このコーナーでは、シリーズで人権に関する情報をお知らせします。

8月は人権強調月間

京都人権啓発推進会議は毎年8月を「人権強調月間」と定め、あらゆる差別や人権問題をなくすため、さまざまな啓発事業を行っています。

月間に合わせ、市と関係団体は8月4日、街頭啓発を実施II写真「綾部」を目指し、市民一人ひとりが人権について考える機会となりました。



すべての人が輝いて生きられる世界を目指す啓発ポスター

多様性を尊重する

多様性(ダイバーシティ)とは、集団の中で年齢や性別、人種、経験、障害の有無、性的指向、性自認などが異なるさまざまな人たちが共に存在すること。その個性を互いに認め合うことが大切です。「普通は○○だ」「男(女)はこうあるべきだ」という決め付けや押し付けをしてはいけません。「自分と違う」からといって排除せず、個々の個性に目を向け、すべての人が心豊かに暮らせるまちを目指しましょう。



人権啓発グッズを配布しました